

考查項目別運用表

別紙—1①(土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図の整備及び現場への掲示状況。 <input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前に提出している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載されている。 <input type="checkbox"/> 元請業者が下請業者の作業成果を検査している。 <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督職員の確認を受けた上で所定の期間内に行われている。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置の施工となっている。 <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 <input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備工事について、製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法）を整えている。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p>理由：.....</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目 2 項目以下「c」 <p>●判断基準 土木工事 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満 b 評価値が80%未満..... c</p>			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	

考查項目別運用表

別紙—1①(土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
1. 施工体制	II. 配置技術者 (現場代理人等)	<p>●評価対象項目</p> <p>【全体を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。</p> <p>【現場代理人を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなど必要な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督職員への報告を適時及び的確に行っている。</p> <p>【監理(主任)技術者を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 事前協議を踏まえ、共通仕様書及び諸基準に基づき書類を適切に作成し、整理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。</p> <p>理由：</p> <p><input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () %</p> <p><input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」</p> <p>●判断基準 土木工事 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満b 評価値が80%未満.....c</p>			<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	

考查項目別運用表

別紙—1②(土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>●評価対象項目 【全体を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。</p> <p><input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事打合せ簿等の整備が、不足無く適時に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 廃棄物の適正処理・建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 段階確認、立会の申請が適切な時期に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。</p> <p>理由：.....</p> <p><input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = (%)</p> <p><input type="checkbox"/> 評価対象項目 2 項目以下「c」</p> <p>●判断基準 土木工事 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満 b 評価値が80%未満..... c</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
					<p>完了検査時に各種書類が整理されていても、監督職員が再三提出するよう催促したり、監督職員が手伝ったり、何度も手直しを指示するなど自主的に作成されていない場合は評価しない。後日でも分かるように施工プロセスのチェックに内容を記録すること。</p>	
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	

考查項目別運用表

別紙—1② (土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状況	II. 工程管理	<p>●評価対象項目 【全体を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程に与える要因を適確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。</p> <p><input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件の変更への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。</p> <p><input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の工程に関する各種制約があるにもかかわらず対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるために取組みを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れがない。</p> <p><input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。</p> <p>理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () %</p> <p><input type="checkbox"/> 評価対象項目 2 項目以下「c」</p> <p><input type="checkbox"/> 主たる工事が草刈や剪定及び機器の取替えや小規模な舗装工事等で標準工期で発注しており工期内に完成した。「c」</p> <p>●判断基準 土木工事 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 b 評価値が80%未満 c</p>			<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	

考查項目別運用表

別紙—1③ (土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	<p>●評価対象項目 【全体を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害防止（工事安全）協議会等を1回/月以上行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM（ツールボックスミーティング）、KY（危険予知活動）等を実施し、記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備がなされ、管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労務災害及び公衆災害が発生しなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。</p> <p>理由：</p> <p><input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () %</p> <p><input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」</p> <p>●判断基準 土木工事 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満 b 評価値が80%未満..... c</p>			<p><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	

考查項目別運用表

別紙—1③ (土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状況	IV. 対外関係	<p>●評価対象項目 【全体を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者に分かりやすく周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () %</p> <p><input type="checkbox"/> 評価対象項目 2 項目以下「c」</p> <p>●判断基準 土木工事 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満 b 評価値が80%未満..... c</p>			<p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	

考查項目別運用表

別紙—1④(土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	a 適切である		b ほぼ適切である		c 他の評価に該当しない		d やや不適切である		e 不適切である	
	3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 <small>※ ばらつきの判断は別紙—4参照。</small>		<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。		<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、a, bに該当しない。		<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。		
	※ ばらつきの判断は別紙—4参照。 ① 必要な出来形測定項目を実施しており、その測定結果が規格値を満足している場合はa, b, cの評価とし、満足していない場合はd, e評価とする。 ② 出来形のばらつきの判定(別紙—4参照) ③ <input type="checkbox"/> 数量精査により変更設計された場合は、「c」評価とする。 ④ <input type="checkbox"/> 出来形管理項目を設定していない工事は、「c」評価とする。				① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。(草刈・剪定工事や機器の交換等)		<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。	
工種	a 適切である		b ほぼ適切である		c 他の評価に該当しない		d やや不適切である		e 不適切である	
機械設備工事 ※上記欄によらず、当該欄で評価	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の磨耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由： _____ <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」				<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。			
					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。					
					●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c					

考查項目別運用表

別紙—1④(土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	工種	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	電気設備工事 通信設備工事 ・受変電設備工事 ※上記欄によらず、当該欄で評価	<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的の実施している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗値について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」 ●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c			<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。	
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	

考查項目別運用表

別紙—1⑤(土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	a	b	c	d	e
	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 ※ ばらつきの判断は別紙—4参照	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、a, bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
① 必要な品質管理試験等を実施しており、その測定結果が規格値を満足している場合はa, b, cの評価とし、満足していない場合はd, e評価とする。 ② 品質のばらつきの判定(別紙—4参照) ③ <input type="checkbox"/> 品質管理項目の設定・指定の無い工事は、「c」とする。 ※ 測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 品質の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で品質管理を行うものである。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。(草刈・剪定工事や機器の交換) </div>					

考查項目別運用表

別紙—1⑤(土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	工 種	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	機械設備工事 ※上記欄によらず、当該欄で評価	<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料、部分の品質照号の書類（現物照合）の内容が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保している。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図書とおり配置し、操作性にすぐれている。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり機能している。 <input type="checkbox"/> 電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫している。 <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいように工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p>理由：</p>			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>						
		<input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = (%)				
		<input type="checkbox"/> 評価対象項目 2 項目以下「c」		<p>●判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 b 評価値が80%未満 c</p>		

考查項目別運用表

別紙—1⑤(土木)

(監督職員) 令和6年4月

考查項目	工 種	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気設備工事 通信設備工事・ 受変電設備工事 ※上記欄によらず、 当該欄で評価	<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合がない。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）している。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = (%)			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>						
<p>●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c</p>						

考查項目別運用表

別紙—1⑤(土木)

(監督職員) 令和6年4月

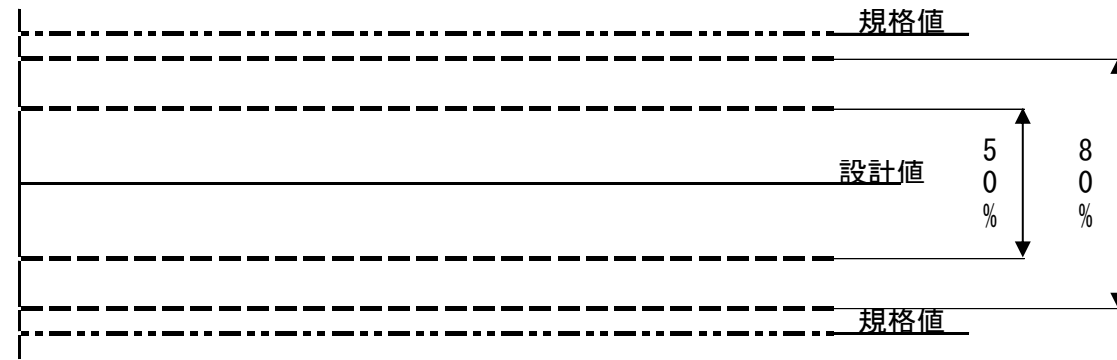
考查項目	工 種	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持・修繕工事 ※上記欄によらず、当該欄で評価	<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した技術提案等を行っている。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
		<input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>● 判断基準 ※該当項目が6項目以上 . . . a ※該当項目が4項目以上 . . . b ※該当項目が3項目以下 . . . c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。 ※ 上記以外の評価対象項目の設定については、以下より該当するものを抽出する。</p> <p>【全般】 <input type="checkbox"/> 社内の品質管理項目(基準)を設定し、管理している。 <input type="checkbox"/> 施工条件、気象条件等を考慮して施工している。 <input type="checkbox"/> 応急的な維持作業に使用する材料についても品質を証明できる資料が整備されている。 <input type="checkbox"/> 応急処理の材料が、復旧までの期間を考慮したものを使用した。 <input type="checkbox"/> 水質事故、交通事故等の対応が迅速かつ適切であった。 <input type="checkbox"/> 夜間・休祭日において、緊急作業等を迅速かつ適切に対応した。 <input type="checkbox"/> 書面または写真等により、緊急作業時に必要な資機材及び人員で対応した。 <input type="checkbox"/> 施工時期や場所等での地域や環境に配慮を行った。 <input type="checkbox"/> 特定外来種、または貴重種を発見した後の対応が適切であった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評定方法についての考え方】</p> <p>・基本項目全てが評価された場合でも「b評価」であるが、評価対象工事において特に優れた対応を評価できる項目を追加することにより「a評価」を付けることも可能としている。 ただし、別紙記載例の例示項目の内容が確認できたものを抽出するのではなく、「特に評価できる項目」のみを選定する必要があることに注意願いたい。 また、維持・修繕工事における品質とは、構造物の品質のみならず、目的を達成するための機動性、迅速性、的確性等の取り組み姿勢も含まれるものと考えられるため、明確に「品質」を評価する項目でなくとも、広義に解釈し、維持工事の品質向上につながると考えられる事項について積極的に評価するものとする。 なお、以上の主旨から例示項目以外についても、「特に評価できる項目」がある場合には適宜評価項目として追加することが可能である。</p> </div>	
		<p>【道路】</p> <input type="checkbox"/> 清掃作業時に適切な散水を実施している。 <input type="checkbox"/> 人力による補助清掃を実施している。 <input type="checkbox"/> 汚れの程度、交通状況等を考慮した作業方法で清掃している。 <input type="checkbox"/> 構造物を破損したり、機能を低下させないように清掃している。 <input type="checkbox"/> 洗剤等の付着物を残さないよう施工している。 <input type="checkbox"/> 作業・運搬時に路面への飛散防止が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 路面清掃で使用する回転ブラシの交換が適切な時期に実施され過度な磨耗状態で実施していない。 <input type="checkbox"/> 作業所毎のチェック記録表を作成し、作業漏れ等を防ぐなど工夫がみられる。 <p>【道路構造物工】</p> <input type="checkbox"/> コンクリート構造物工事の品質項目より適宜選択			<p>【修繕工事】</p> <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案し体制を整えている。提案等を行っている。	

別紙 - 4

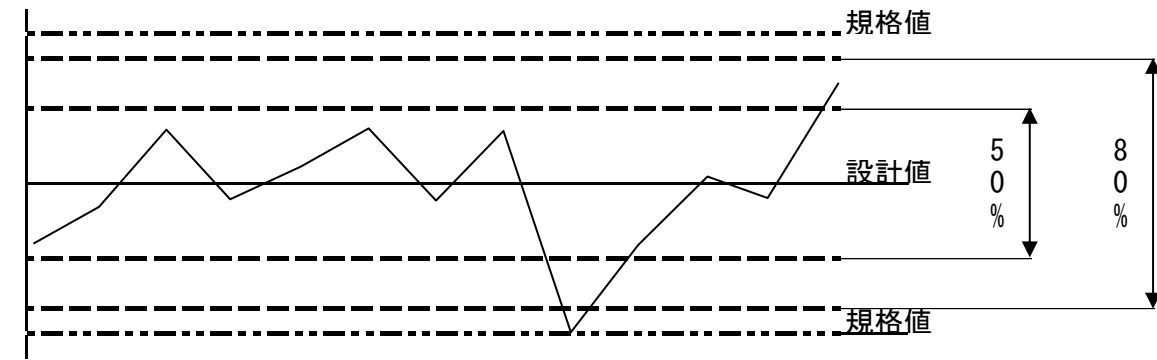
【記入方法及び留意事項】

1. 出来形及び品質のばらつき考え方
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

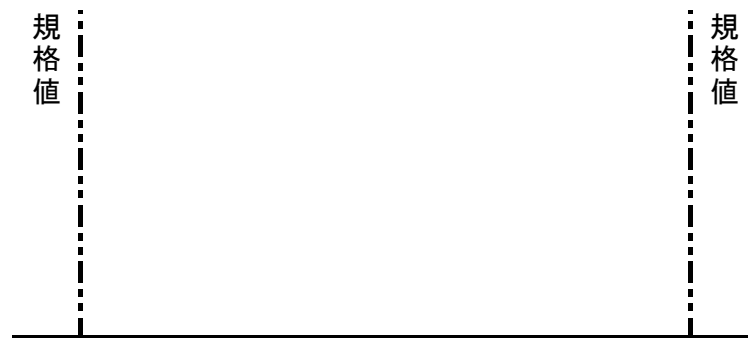


(上・下限値がある場合)
<例>

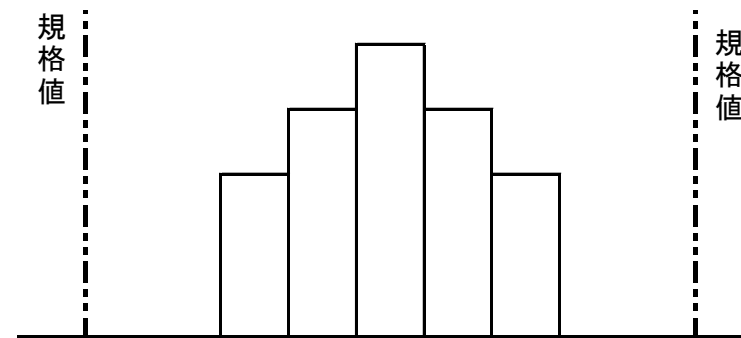


※上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定しばらつきの%を考慮する。

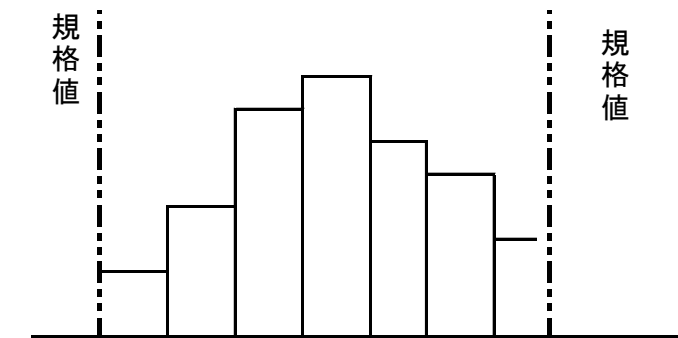
(度数表または、ヒストグラムの場合)



(度数表または、ヒストグラムの場合)
<例>ばらつきが少ない



<例>ばらつきが多い



2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は「合併工事」欄を活用する。

3. コンクリート構造物のクラックについて (簡易な無筋構造物は除く)

- (1) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックであり、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、C評価とする。
- (2) 「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、状況に応じて、dまたはe評価とする。

4. その他

- ・「施行プロセス」チェックリストを活用して、評定を行う。
- ・「4. 高度技術」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、受注者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。

備考： ばらつきの評価は、工事規模が大きく出来形の測点数が多い場合有効ですが、小規模工事においては出来形の測点数が数箇所となってしまうことが想像できます。工事内容により測定数が少ない場合は、ばらつきという意味を規格値・基準値・設計値と測定した出来形寸法との差の大小としてとらえて評価してよいものとします。

考査項目別運用表

別紙-2①(土木)

(主管係長等) 令和6年4月

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取組が見られた。 <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取組を行い余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業を回避するために取組を行い時間外作業をすることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p>理由：.....</p> <p>※ 該当項目を現場への臨場、実施工程表、工事履行状況報告書及び施工体制書類などを基に総合的に判断して評価する。 ※ たとえ評価が一つであっても、その内容が特に評価に値する場合はa評価も可である。 ※ 率による判断基準によらず評価することが可であり、その場合は理由を記入し明確にしておくこと。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = (%) <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」 <input type="checkbox"/> 主たる工事が草刈や剪定及び機器の取替え等で特に工程管理を必要としないので「c」評価とする。 <input type="checkbox"/> 判断基準によらず評価する場合の理由</p> <p>理由：.....</p>			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、監督職員が文書による改善指示を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 受注者の責により期限内に工事等を完成させなかった。(但し、改善指示による場合を除く)
						<p>●判断基準 土木工事</p> <p>評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満... b 評価値が80%未満..... c</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>
	細 別	a	b	c	d	e
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	Ⅲ. 安全対策	<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取組に対する地域から評価された。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づき安全に関する研修・訓練等を行った。 <input type="checkbox"/> 当該工事の現場特性を反映した新規入場者教育を行った。 <input type="checkbox"/> 過積防止の取組みを行った。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備がなされ管理されている。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p>理由：.....</p> <p>※ 主管係長等は、監督職員の意見を参考に発注工事全体を視野に入れた総合的に判断して評価を行う。 ※ たとえ評価が一つであっても、その内容が特に評価に値する場合はa評価も可である。 ※ 率による判断基準によらず評価することが可であり、その場合は理由を記入し明確にしておくこと。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = (%) <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」 <input type="checkbox"/> 判断基準によらず評価する場合の理由</p> <p>理由：.....</p>			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。
					<p>●判断基準 土木工事</p> <p>評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満... b 評価値が80%未満..... c</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	

考査項目別運用表

別紙-2②(土木)

(主管係長等) 令和6年4月

考査項目	細 別	評価対象項目	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事 特性	I. 施工 条件等へ の対応	<p>I 構造物の特殊性への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 <input type="checkbox"/> 3. その他 <p>理由：</p> <p>.....</p> <p>※ 評価は右記の[事例]具体的な施工条件等への対応事例を参考に、当該工事の工事特性等を判断して評価対象項目に加える場合は、その理由を必ず記載する。</p>	<p>(1. について)</p> <p>切土の土工量：20万㎡以上、盛土の土工量：15万㎡以上、護岸・築堤の平均高さ：10m以上、トンネル(シールド)の直径：8m以上、ダム用水門の設計水深：25m以上、樋門又は樋管の内空断面積：15㎡以上、揚排水機場の吐出管径：2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長：25m以上、堰又は水門の径間数：3径間以上、堰又は水門の扉体面積：50㎡/門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ：20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積：100㎡以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積：300㎡以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深：10m以上、地滑り防止工：幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量：100万m³以上、流路工の計画高水流量：500m³以上、砂防ダムの堤高：15m以上、ダムの堤高：150m以上、転流トンネルの流下能力：400m³/s以上、橋梁下部工の高さ：30m以上、橋梁上部工の最大支間長：100m以上</p> <p>(2. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事 <p>(3. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事
		<p>II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 <input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 <input type="checkbox"/> 10. その他 <p>理由：</p> <p>.....</p> <p>※ 評価は右記の[事例]具体的な施工条件等への対応事例を参考に、当該工事の工事特性等を判断して評価対象項目に加える場合は、その理由を必ず記載する。</p>	<p>(4. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事 <p>(5. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事 ・その他各種制約があり、施工に特に厳しい制限を設けた工事 <p>(6. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地での夜間工事 ・DID地区での工事 <p>(7. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事 <p>(8. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事 <p>(9. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業現場が広範囲に分布している工事 <p>(10. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事
		<p>III 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければなら工事 <input type="checkbox"/> 15. その他 <p>理由：</p> <p>.....</p> <p>※ 評価は右記の[事例]具体的な施工条件等への対応事例を参考に、当該工事の工事特性等を判断して評価対象項目に加える場合は、その理由を必ず記載する。</p>	<p>(11. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事 <p>(12. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事 <p>(13. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事、もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く) ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事 <p>(14. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事 <p>(15. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事

考查項目別運用表

別紙-2②(土木)

(主管係長等) 令和6年4月

考查項目	細 別	評価対象項目	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応	IV 長期工事における安全確保への対応 <input type="checkbox"/> 16. 12ヶ月を越える工期で、事故なく完成した工事（前面一時中止期間は除く） <small>※但し、文書注意に至らない事故は除く。</small> <input type="checkbox"/> 17. その他 理由：	※ 12ヶ月未満の工期であっても、現地の作業条件により安全確保への対応が難しく、特筆し評価すべき事項がある工事の場合は、「その他」に理由を記載し評価することも可能。
	評 価	評 点 点	※1 工事特性は、I～IVの合計とし、最大20点の加点点評価とする。 ※2 評価にあたっては、監督職員の意見も参考に評価する。

考査項目別運用表

別紙-2③(土木)

(主管係長等) 令和6年4月

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	c
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に広報誌の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域貢献した。 <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p>理由：.....</p> <p>※ 工事の特性等から評価対象項目に加える場合は、その理由を必ず記載する。評価対象項目を加えない場合は対象としない。 ※ 総括監督職員は、監督職員の意見を参考に発注工事全体を視野に入れた総合的な評価を行う。 ※ たとえ評価が一つであっても、その内容が特に評価に値する場合はa評価も可である。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = (%)</p> <p><input type="checkbox"/> 評価対象項目 2 項目以下 「c」</p> <p><input type="checkbox"/> 判断基準によらず評価する場合の理由</p> <p>理由：.....</p> <p>●判断基準 土木工事 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... a' 評価値が70%以上80%未満..... b 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が60%未満..... c</p>				

① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

考査項目別運用表

別紙-2④(土木)

(主管係長等) 令和6年4月

7. 法令遵守等	法令遵守等の該当項目一覧表		
	措置内容	点数	措置を行った日及び内容
<input type="checkbox"/>	1. 指名停止3ヶ月以上	-20点	
<input type="checkbox"/>	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	
<input type="checkbox"/>	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	
<input type="checkbox"/>	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	
<input type="checkbox"/>	5. 文書注意	-8点	
<input type="checkbox"/>	6. 口頭注意	-5点	
<input type="checkbox"/>	7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に関わる安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	-3点	
<input type="checkbox"/>	8. その他 ※工事の特性等から評価対象項目に加える場合は、その理由を記入する。 理由:	-1点	
<input type="checkbox"/>	9. 該当項目なし		
<p>① 本評価項目(7. 法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。 ※「上表の措置があった場合」とは、関係部局による法令違反等の判断に基づき、措置があったものをいう。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、受注会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。</p> <p>④ 総合評価競争入札における技術提案等の提案項目が、受注者の責により履行されなかった場合は、落札時の加算点との差に応じて、8. その他の項目で減ずる措置を行う。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。 13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。 15. 工事関係車両、建設機械等で不正軽油を使用したことが判明し、地方税法違反で処分された。 16. 引渡し後に事故等が発生し、受注者の責による重大な契約不適合が判明した。 17. 受注者の責により工期内に工事を完成出来なかった。 18. その他 <p>理由:</p>			

考查項目別運用表

別紙－3①（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
<input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。			
<input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 </div>
<input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 廃棄物の適正処理・建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。			
<input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受払い簿等により適切に把握されている。			
<input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 工場の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。			
<input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 社内検査体制が確立されており実施されていることが確認できる。			
<input type="checkbox"/> 社内検査体制が確立されており実施されていることが確認できる。			<input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。			
理由：.....						
<input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () %						
<input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」						
<p>●判断基準 土木工事 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c</p>						

考查項目別運用表

別紙－3②（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考查項目	a	a'	b	b'	c	d	e
	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規定値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規定値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規定値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規定値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <u>理由：</u> ※ ばらつきの判断は別紙－4を参照し判断する。 測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。 <input type="checkbox"/> 数量精査により変更設計を行ったので「c」評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形管理項目を設定していない工事につき「c」評価とする。 <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。 </div>							

考査項目別運用表

別紙－3②（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	機械設備工事 ※上記欄によらず、当該欄で評価	<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。					<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の磨耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」 ●判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 . . . a' 評価値が70%以上80%未満 . . . b 評価値が60%以上70%未満 . . . b' 評価値が60%未満 c					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。			

考査項目別運用表

別紙－3②（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	電気設備工事 通信設備工事・ 受変電設備工事 ※上記欄によらず、 当該欄で評価	<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真により確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内にあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 行先など表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数（ ） ÷ 評価対象項目数（ ） = （ ） % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」 <p>●判断基準</p> 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 . . . a' 評価値が70%以上80%未満 . . . b 評価値が60%以上70%未満 . . . b' 評価値が60%未満 c					<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

考查項目別運用表

別紙-3③ (土木)

(検査職員) 令和6年4月

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 [判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4 参照 ※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、W/C、最大骨材寸法、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																														
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																

考査項目別運用表

別紙-3③(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	土工事 (切土、盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [判断基準参照: 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4参照 ※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付けを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																														
		●判断基準					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

考査項目別運用表

別紙-3④(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																														
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [判断基準参照: 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4 参照 ※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所の湧水又は滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																															
		●判断基準					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。																																				

考查項目別運用表

別紙-3⑤(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	橋梁工事 (RC床版工事は コンクリート構 造物)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <small>[判断基準参照: 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4 参照 ※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
【評価対象項目】		【工場製作関係】 <input type="checkbox"/> 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業における作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理を塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日・ロット番号・色彩・数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由:					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																													
【架設関係】																																				
<input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切り勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び塗膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度・湿度・風速等の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由:		<input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」																																		
		●判断基準		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
	60%未満	b'	c	c	c																															
		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。																																		

考査項目別運用表

別紙-3⑥ (土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																															
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	砂防構造物工事 及び 地すべり防止工事 (集水井工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <small>[判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4 参照</small> <small>※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																															
		【評価対象項目】 <small>※コンクリート関連の項目については、コンクリート構造物工事の解説参照</small> 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、W/C、最大骨材寸法、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種及び養生方法が気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p style="margin-left: 20px;">理由：.....</p> 【砂防構造物工事に適用】 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p style="margin-left: 20px;">理由：.....</p> 【地すべり対策工事（抑止杭・集水井工事を含む）】 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたり、偏心と歪に配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p style="margin-left: 20px;">理由：.....</p>					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																																
		<input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。</p>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		

考查項目別運用表

別紙-3⑦(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <small>[判断基準参照: 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4参照</small> <small>※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
【評価対象項目】 【路床・路盤工関係】 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所の締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: _____					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。			
【アスファルト舗装工関係】 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 乳剤(プライムコート、タックコート)の塗布量が設計書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: _____								
【コンクリート舗装工関係】 ※コンクリート関連の項目については、コンクリート構造物工事の解説参照 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、W/C、最大骨材寸法、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: _____								
<input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」								

●判断基準

評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
	a	a'	b	b	
	a'	b	b'	b'	
	b	b'	c	c	
	b'	c	c	c	

試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。

考查項目別運用表

別紙-3⑧(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <small>[判断基準参照: 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4参照</small> <small>※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
【評価対象項目】 【共通】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起らないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: _____		【種子吹付工、客土吹付工、植生(厚層)基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: _____		【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付にあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: _____		【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: _____		
<input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = (%)		<input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。

考查項目別運用表

別紙-3⑨ (土木)

(検査職員) 令和6年4月

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工事及び地盤改良工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <small>[判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4参照</small> <small>※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		【評価対象項目】 【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。（共通） <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。（コンクリート・鋼管・鋼管井筒・場所打） <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。（共通） <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。（共通） <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。（共通） <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。（共通） <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。（場所打） <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。（場所打） <input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリートの打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。（場所打・深礎） <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。（深礎） <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。（深礎） <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。（コンクリート・鋼管・鋼管井筒） <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：.....					<input type="checkbox"/> 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 <input type="checkbox"/> 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																														
		【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：.....																																			
		<input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」																																			
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。																																			

考査項目別運用表

別紙-3⑩(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																																	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [判断基準参照: 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4参照 ※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。 【評価対象項目】 ※コンクリート関連の項目については、コンクリート構造物工事の解説参照 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、W/C、最大骨材寸法、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固方法が、決められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																	
							① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																																		
						●判断基準																																			
						<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c	試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。	
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
		50%以下	80%以下	80%を超える																																					
	90%以上	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
	60%未満	b'	c	c	c																																				

考査項目別運用表

別紙－3⑩（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																																		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <small>[判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙－4 参照 ※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																		
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日・ロット番号・色彩・数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数（ ） ÷ 評価対象項目数（ ） = （ ） % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																																			
		●判断基準					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																					
		50%以下	80%以下	80%を超える																																						
	90%以上	a	a'	b	b																																					
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																					
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																					
	60%未満	b'	c	c	c																																					
		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。																																								

考査項目別運用表

別紙－3⑩（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																										
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	植栽工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <small>[判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙－4 参照</small> <small>※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数（ ） ÷ 評価対象項目数（ ） = （ ） % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																											
		●判断基準																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														
		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。																																

考査項目別運用表

別紙-3⑫(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	防護柵(網) 標識・区画線等 設置工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [判断基準参照: 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4参照 ※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこり等を取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由: <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																													
		●判断基準																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。																																		

考査項目別運用表

別紙-3 ⑫ (土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <small>[判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4 参照</small> <small>※測定点数が概ね5点以上の場合はばらつきで評価する。</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																														
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。	
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																

考査項目別運用表

別紙－3⑫（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持工事 (清掃工、 付属物工、応急処理 等)	<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現場状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由：..... <input type="checkbox"/> 理由：..... <input type="checkbox"/> 理由：..... <input type="checkbox"/> 理由：..... <p>●判断基準 ※該当項目が6項目以上 a ※該当項目が4項目 b ※該当項目が5項目 a' ※該当項目が3項目 b'</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。 上記以外の評価対象項目の設定については、以下より該当するものを抽出する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【維持工事全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 社内の品質管理項目（基準）を設定し、管理したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件、施工条件等を考慮し施工したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 応急的な維持作業に使用する材料についても品質を証明できる資料が整備されていたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 応急処理の材料が、復旧までの期間を考慮したものを使用したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 交通事故等への対応が迅速かつ適切に対応したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 夜間・休日作業において、緊急作業等が迅速かつ適切であったことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 書面または写真等により、緊急作業時に必要な資機材及び人員で対応したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期や場所等での地域や環境への配慮を行ったことが確認できる <input type="checkbox"/> 特定外来種、または貴重種を発見した後の対応が適切であったことが確認できる。 <p>【全ての修繕工事に適用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示に対して、現場状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。 </div> <div style="width: 48%;"> <p>【道路清掃工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 清掃作業時に適切な散水を実施したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 人力による補助清掃を実施したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 汚れの程度、交通状況等を考慮した作業方法で清掃したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物を破損したり、機能を低下させないように清掃したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 洗剤等の付着物を残さないよう施工したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 作業・運搬時に路面への飛散防止が行われたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路面清掃で使用する回転ブラシの交換が適切な時期に実施され、過度な磨耗状態で実施していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 作業箇所毎のチェック記録表を作成し、作業漏れ等を防ぐなど工夫がみられる。 </div> </div>					<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 	

考査項目別運用表

別紙－3⑬（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	機械設備工事	<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> バルブ等の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p>理由：.....</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」 					<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
							<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	
							<p>●判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c</p>	

考査項目別運用表

別紙-3⑬(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気設備工事	<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足し、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。[確認資料：工場試験成績書、現地試験成績書等] <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。[確認資料：工場試験成績書、現地試験成績書等] <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p>理由：.....</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」 <p>●判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 . . . a' 評価値が70%以上80%未満 . . . b 評価値が60%以上70%未満 . . . b' 評価値が60%未満 c</p>					<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>

考査項目別運用表

別紙-3⑭(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	通信設備工事・ 受変電設備工事	<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
							<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	
		<p>●判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c</p>						

考査項目別運用表

別紙-3⑭(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	橋梁補修・補強工事	<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 鋼板接着工のボルト、注入材の品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーボルト孔の削孔長の全数確認状況及び資料が整備されている。 <input type="checkbox"/> アンカーボルト等の樹脂注入において樹脂の密入状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカー引き抜き試験を実施し、必要強度の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付け確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付け機、測定器のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 削孔箇所の清掃を実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケレンが入念に実施されていることが確認でき塗膜厚管理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装・溶接施工時における天候、気温及び湿度等の条件が記録され整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日・ロット番号・色彩・数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 床版工の繊維シートの付着の品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 炭素繊維・鋼材・鉄筋の規格がミルシートで確認でき、引張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> 落橋防止装置工の鋼製ブラケットの品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくモルタルが適切な規格あることが確認できる。 <input type="checkbox"/> モルタル打設時に必要な供試体を採取し強度が確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設鉄筋や既設部材の保全による構造全体の品質確保への配慮されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 電位差測定等により電気腐食効果が明確に確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 <p>理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = (%)</p> <p><input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」</p> <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c 					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
							<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p>	

考査項目別運用表

別紙－3⑮（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	公園施設整備 工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <small>[判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつき判断は別紙－4参照</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理を行ったことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料や部材の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき証明書が整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遊戯施設等の機能と安全性が確認でき証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 園路等の路盤工に係る現場密度試験が実施されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 園路等の表層材料に係る配合報告書により配合規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> 平板、タイル舗装等の継目がきれいに処理され施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 排水勾配が確保されており滞水がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植物や公園資材等を修景効果向上について検討（又は提案）され施工を行った。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数（ ） ÷ 評価対象項目数（ ） = （ ） % <input type="checkbox"/> 評価対象項目 2 項目以下「c」					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。		
	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
	補強土壁工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <small>[判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつき判断は別紙－4参照</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 盛土材料の土質の状況が確認でき、施工上問題のないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレキャスト製品や材料等の品質に係る資料が提出され整理されている。 <input type="checkbox"/> タイバーやストリップ等の補強材料の設置位置や延長が計画通り施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の締固め状況（機械、巻き出し厚、敷均し、転圧作業等）が仕様書とおり行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の締固め管理（密度等）がされており基準値を満足している。 <input type="checkbox"/> 現場条件に応じた排水対策を実施したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... <input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数（ ） ÷ 評価対象項目数（ ） = （ ） % <input type="checkbox"/> 評価対象項目 2 項目以下「c」					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。		
		●判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c						
		●判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c						

考査項目別運用表

別紙－3⑩（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ	二次製品 構造物工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <small>[判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙－4参照</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
II. 品質	（用排水構造物工、カルバート工、擁壁工、石、ブロック積（張り）工 ※石・ブロック積（張）工については「護岸・根固・水制工」に係るものを除く。	【評価対象項目】 【共通】 <input type="checkbox"/> 製品の品質管理がされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> J I S規格外品に係る仕様書で規定する規格や品質が書類等で確認でき整備されている。 <input type="checkbox"/> 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が実施されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の保管、吊込み、据付状況等が確認でき、製品に有害なひび割れや損傷等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土留め、ウェルポイント等の仮設の施工及び管理状態が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... 【用排水構造物工】 <input type="checkbox"/> 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形にあわせた施工ができていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎地盤の締固めが行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 呑口、吐口、集水桝等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。 <input type="checkbox"/> 施設の流末処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 不等沈下が発生していない。また、基礎コンクリートの亀裂や継目部から漏水していない。 <input type="checkbox"/> 製品の継目部が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 継目部の目地モルタルの施工が良く水漏れ等が発生していない。 <input type="checkbox"/> 製品周りの埋戻し・盛土の施工について巻出し及び転圧の施工状況が確認でき、仕様書を満足している。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... 【石・ブロック積（張）工、プレキャストカルバート工、プレキャスト擁壁工】 <input type="checkbox"/> 胴込コンクリートや裏込め材の充填状況が写真等で施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。 <input type="checkbox"/> 製品の連結やかみ合わせに係る施工状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> 端部における地山とのすりつけや処理方法が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法勾配や裏込材厚等が管理され施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 末端部及び曲線部において間隙が生じた場合の施工状況が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 伸縮目地や水抜き孔等が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 製品周りの埋戻し・盛土の施工について巻出し及び転圧の施工状況が確認でき、仕様書を満足している。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。 理由：..... ※基礎工事や地盤改良工事を伴う場合は、別紙－3③基礎工事及び地盤改良工事を参考にし評価対象項目を追加する。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/> 評価＝該当項目数（ ） ÷評価対象項目数（ ） ＝（ ）％ <input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」	●判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c	

考査項目別運用表

別紙-3⑰ (土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下水道工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <small>[判断基準参照：関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつき判断は別紙-4参照</small>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 品質管理が実施されており資料等で確認できる。 ※コンクリートや舗装等の品質管理が整理されており確認できる <input type="checkbox"/> 材料の品質や規格証明書が整備されており確認することができる。 ※二次製品材料承認が必要な材料の規格証明書の整備 <input type="checkbox"/> 計画通りに仮設（土留め）が実施されており、管理も行われている。周辺地盤の沈下もなかった。 <input type="checkbox"/> 掘削時、土質の変化や湧水等の変化及び地下埋設物に対して適切に対処した。 <input type="checkbox"/> 管渠（開削、推進、シールド）工において、出来形管理が整理されている。 <input type="checkbox"/> 管路に目立った屈曲や沈下がなく確認できる。管渠の継目から漏水がない。 <input type="checkbox"/> 管渠に影響を与えるようなクラックや変形がない。 <input type="checkbox"/> 管路の勾配が適正で滞留がない。 <input type="checkbox"/> 管渠止めにおいて、止水材や活材、接着剤のはみだしがない。 <input type="checkbox"/> 管渠継手部やマンホール連結部の目地の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 推進管の裏込め材料の充填状況が資料等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 立坑周辺及び覆工板の管理が適切であり、施工中や交通開放時に影響がなかった。 <input type="checkbox"/> マンホールにおける出来形管理の状況が整理されており、連結部において止水シール・ゴムを適切に使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> マンホールの各部材にクラックや破損等がなく漏水もしていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> マンホールの足掛け金物の位置や方向、鉄蓋の設置状況が良い。 <input type="checkbox"/> インパートの形状、勾配等が適切であり漏水が発生していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> インパートの表面仕上げの状況が良い。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおける締固めが仕様書等に従い実施されており、工事終了後沈下等が発生していない。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧の施工管理がされており、構造物やマンホールへのすりつけが良く仕上がりも良い。 <input type="checkbox"/> 縁石や柵等の道路付属物が復旧されている。 <input type="checkbox"/> マンホールや管渠、取り付け管等の施設が清掃されており土砂等が取り除かれている。 <input type="checkbox"/> 公共汚水樹の天端の周辺地盤の復旧が良く、境界石等周辺の復旧が良い。 <input type="checkbox"/> 個人の敷地内で工事を行うにあたり、事前に調整や説明を行い施工した。施工前も後も苦情がなかった。 <input type="checkbox"/> 公共汚水樹の取付管における屈曲や勾配が適正で滞水が無く、埋戻し後の沈下がなく復旧の仕上げも良い。 <input type="checkbox"/> その他 ※評価対象項目に加える場合は、必ず理由を記入する。評価対象項目を加えない場合は削除する。					<input type="checkbox"/> 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 <input type="checkbox"/> 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。	
		理由：.....						
		<input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () %						
		<input type="checkbox"/> 評価対象項目2項目以下「c」						
		●判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c						

考査項目別運用表

別紙-3 ⑰ (土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である																											
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	上記以外の工事 (情報ボックス、浚渫工事) 又は合併工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [判断基準参照: 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙-4 参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由:					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。																												
		<input type="checkbox"/> 評価 = 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () = () % <input type="checkbox"/> 評価対象項目 2 項目以下「c」																																	
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	b																														
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
	60%未満	b'	c	c	c																														
		【浚渫工事】 <input type="checkbox"/> 浚渫後の河床に極端な凸凹がない。 <input type="checkbox"/> 浚渫土の搬出先に不陸が生じない工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 浚渫土の運搬先が平坦に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 全体的にきめ細やかな施工が伺える。		【情報ボックス設置工事】 <input type="checkbox"/> ハンドホール内に土砂・異物及び汚れがない。 <input type="checkbox"/> ハンドホール外管の接合部の仕上げがよいのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 周辺地盤との擦り付けがよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。																															

考査項目別運用表

別紙-3⑱ (土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物 砂防構造物工事 トンネル工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態（肌）が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 5 項目以上 a " 4 項目 b " 3 項目以下 c 該当項目なし d	
	土工事 (盛土・築堤工事等)	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4 項目以上 a " 3 項目 b " 2 項目以下 c 該当項目なし d	
	切土工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工面の木根等が確実に除去されている。 <input type="checkbox"/> 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物との取合いが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 6 項目以上 a " 5 項目 b " 4 項目以下 c 該当項目なし d	
	護岸・根固・水制工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良く、クラックがない。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4 項目以上 a " 3 項目 b " 2 項目以下 c 該当項目なし d	
	鋼橋工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆がない。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4 項目以上 a " 3 項目 b " 2 項目以下 c 該当項目なし d	
	地すべり防止工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 3 項目以上 a " 2 項目 b " 1 項目 c 該当項目なし d	

考查項目別運用表

別紙－3⑱（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考查項目	工種	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	舗装工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 5項目以上 a " 4項目 b " 3項目以下 c 該当項目なし d		
	法面工事	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 3項目以上 a " 2項目 b " 1項目 c 該当項目なし d	
	基礎工事 （地盤改良等を含む）	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ※ 地盤改良はc評価とする。		●判断基準 該当項目 3項目以上 a " 2項目 b " 1項目 c 該当項目なし d				

考査項目別運用表

別紙-3⑱ (土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート橋上部工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態（肌）が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 5 項目以上 a " 4 項目 b " 3 項目以下 c 該当項目なし d	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細やかな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4 項目以上 a " 3 項目 b " 2 項目以下 c 該当項目なし d	
	植栽工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 植栽帯の全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 3 項目以上 a " 2 項目 b " 1 項目 c 該当項目なし d	
	防護柵（網）工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆がない。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 5 項目以上 a " 4 項目 b " 3 項目以下 c 該当項目なし d	
	標識工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎の埋戻し等が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4 項目以上 a " 3 項目 b " 2 項目以下 c 該当項目なし d	
	区画線工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4 項目以上 a " 3 項目 b " 2 項目以下 c 該当項目なし d	

考査項目別運用表

別紙－3⑱（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	電線共同溝工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装（仮復旧舗装含む）の勾配が適切で、有害な段差がなく平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> 蓋のがたつきや隙間がない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 3 項目以上 a " 2 項目 b " 1 項目 c 該当項目なし d	
	維持修繕工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 3 項目以上 a " 2 項目 b " 1 項目 c 該当項目なし d	
	草刈・造園工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 施工後の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4 項目以上 a " 3 項目 b " 2 項目以下 c 該当項目なし d	

考査項目別運用表

別紙-3㊹(土木)

(検査職員) 令和6年4月

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	機械設備工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4項目以上 a " 3項目 b " 2項目以下 c 該当項目なし d	
	電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 構造物等にきめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常がなく、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等についての配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な取扱いがしやすく、美観が良い。		●判断基準 該当項目 5項目以上 a " 4項目 b " 3項目以下 c 該当項目なし d	
	通信設備工事 受変電設備工事 その他類似工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常がなく、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等についての配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な取扱いがしやすく、美観が良い。		●判断基準 該当項目 5項目以上 a " 4項目 b " 3項目以下 c 該当項目なし d	
	橋梁補修・補強工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 構造物等にきめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 6項目以上 a " 5項目 b " 4項目以下 c 該当項目なし d	
	公園施設整備工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 施設構造物の肌、通り、収まり等仕上げの状態が良い。 <input type="checkbox"/> 園路等の舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 遊具等の作動が安全かつ良好に作動する。 <input type="checkbox"/> 維持管理等についての配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4項目以上 a " 3項目 b " 2項目以下 c 該当項目なし d	
	補強土壁工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 壁面材の割れ・カケ等の破損がない。 <input type="checkbox"/> 基礎上面の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 壁面材の目違いや段差が少なく、構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目 4項目以上 a " 3項目 b " 2項目以下 c 該当項目なし d	

考査項目別運用表

別紙－3㉑（土木）

（検査職員） 令和6年4月

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	二次製品構造物工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料の連結、かみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 製品に有害なひび割れや欠損等がない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
				●判断基準 該当項目 6項目以上 a " 5項目 b " 4項目以下 c 該当項目なし d	
	下水道工事	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 付属構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> 付属構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 埋戻し及び路面復旧の状態が良い。			
				●判断基準 該当項目 5項目以上 a " 4項目 b " 3項目以下 c 該当項目なし d	
上記以外の工事 又は 合併工事		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 理由			

		<input type="checkbox"/> 理由			

		<input type="checkbox"/> 理由			

※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。					